## 第4学年 算数科学習指導案

期間14年8月28日~9月26日
対象松尾村立松野小学校
第4学年男子14名女子9名計23名
授業者田村敦子(長期研修生)

- 1 単元名 三角形のなかまを調べよう(東京書籍「新しい算数4年 上」)
- 2 単元について
- (1) 教材観

本単元は、「図形」と「量と測定」の二つの領域から構成されている。これらの領域では、「観 察や構成などの活動をとおして、基本的な図形についての理解を深める」ことと「実生活で出あ う様々な量についての理解を図り、測定することができる」ことと「量の大きさについての感覚 を育てる」ことがねらいである。そこで、このねらいに到達するために、操作活動に取り組ませ ながら量概念の形成を図り、必要感をもたせながら児童自らに発見をさせていく学習を目指して いくことが大切であると考える。

(2) 児童観

児童は、第3学年で基本的な図形である、正方形・長方形・直角三角形について学習した。第 4学年1学期では、円について学習している。レディネステストの結果、コンパスを利用して円 を描くことや直線を等分に分けることはほとんどの児童ができているが、図形を定義や構成要素 に着目して弁別することに困難を示している児童が3割ほどいた。

(3) 指導観

本単元では、見通しをもって課題解決をしていくための「学習マップ」を用いた学習活動をと おして、辺が回転することで角の大きさが変化することを視覚的にとらえたうえで、形としての 角概念から量としての角の概念形成を図っていく。そして、角の概念を理解すると同時に分度器 を用いた角度の測り方や描き方を学習し、今後の作図の基本的な操作を習得させていく。また、 図形の構成要素である辺や角に着目し、観察したり構成したりする活動に取り組み、三角形につ いての理解を深めていくことをねらいとする。

このことを次のような手順で指導にあたる。

- ア 今までの形としての角のとらえから一歩進めて、回転による半直線の開きの量としてみる見 方を扱う。角の大きさに目むけさせたところで、何直角・度を導入する。その後、分度器を使 った角度の測り方やかき方を扱う。
- イ いろいろな三角形を児童が作り、辺の長さに着目して分類する。そこから二等辺三角形と正 三角形の定義に導き、角度からそれぞれの三角形の特徴を導き出し、三角形の概念の理解を深 めていく。これらの知識に基づいて二等辺三角形と正三角形の作図を行う。
- 3 単元の目標

○角の概念や大きさについて理解し、図形と関連して角を用いたり、回転の大きさとしての角を 測定したり、かいたりすることができる。

<sup>○</sup>二等辺三角形や正三角形の概念や性質について理解し、それを構成したり用いたりする能力を 伸ばす。

関心・意欲・態度	数学的な考え方	表 現 ・ 処 理	知識・理解
<ul> <li>関心・意欲・態度</li> <li>・二等辺三角形や正三 角形の性質や美しさ</li> <li>に関心をもち、身の</li> <li>回りからそれらの形</li> <li>を探そうとする。</li> </ul>	<ul> <li>辺の長さや角の大き さや角の大き さやして、三角 形のたしとを 形のす。 たちしい たすの大をしい その たち たち たち た た た た た た た た た た た た た た た</li></ul>	表         児         処         理           ・定義や性質に基づい て二等辺三角形や正 三角形を正確に作図 することができる。           ・分度器を用いて角度 を測ったり、角を描 いたりすることがで	・二等辺三角形や正三
	と数値化して考え	いたりすることがで きる。	

4 指導計画(全14時間)

逴 辽 毛	副呈	<ul> <li>◎…目標</li> <li>☆…評価規準</li> <li>園…「関心・意欲・態度」</li> <li>置…「数学的な考え方」</li> <li><u>表</u>…「表現・処理」</li> <li><u>知</u>…「知識・理解」</li> <li>小単元 &lt;回転の角の大</li> </ul>	時数キャ	学	習	活	動	「学習マップ」の用い方
坋		○単九 < 回転の角の入 ◎角について学習して	20	プロロー	<u>_ </u> ガ			
課	問題	いくことを知る ☆ 関	h	○角のブ ・スキ・ ゲレン ・その野	大きさに 一場のゲ ンデを滑 里由を自	レンデー りたいか 由に発表	で、どの >考える そしあい、	<部分マップ> ○自分の考えを記入する
題	の 把			的によ	から角の とらえる 盟から大		合を感覚 変化する	<ul> <li>→記入する内容</li> <li>・提示された2枚のスキー 山の絵から気が付いたこと</li> </ul>
<b>⊐</b> ⊓.	握	©観点を決めて学習課		・「角」 ○学習詞	とらえる という月 果題の設	定		<ul> <li>・感想</li> <li>&lt;全体マップ&gt;</li> </ul>
設	課 題	<b>題を立てる</b> ☆ 関 どんな学習をしていけば		たいの 【学習詞	のか、学 課題】	習課題を 	とを調べ :考える	<ul> <li>○課題を記入する</li> <li>→記入する内容</li> <li>・学習課題</li> </ul>
定	の 設	いいのか観点をみつける ことができる		大きさる	を比べよ こう	2		<ul> <li>・課題設定の根拠</li> <li>○観点別の学習課題を記入する</li> <li>→記入する内容</li> </ul>
	定	<u>@####################################</u>	<b>↓</b> 2					<ul> <li>つ記入りる内容</li> <li>・大きさ比べ</li> <li>・角を描こう</li> <li>&lt;全体マップ&gt;</li> </ul>
課	解決の見	◎角の大きさの比べ方 を自分なりの方法で 考える ☆ 圏 角の大きさの比べ方を考 えることができる	h	L ・大き	を比べ。	えらべよ	-	<ul> <li>○ 一つの観点である「大き さくらべ」の道を描く</li> <li>○比べる方法を記入する</li> <li>○そこから、自分の選択した 方法の道を描く</li> <li>&lt;部分マップ&gt;</li> <li>○自分が選択した方法・結果</li> </ul>
題	通 し			・方法の ・ お果る	o の見通し を予想す	-		の予想を記入する
解	自力解決・	<ul> <li>◎角の大きさ比べがで</li> <li>きる</li> <li>☆ 関</li> <li>角の大きさの比べ方を自</li> </ul>					を自分な てみる	<全体マップ> ○比べる方法を記入する ○そこから、自分の選択した 方法の道を描く
決	・解決の検討	分なりの方法で考え試す ことができる ☆ <b>汚</b> 角を量としてとらえるこ とができる						<部分マップ> ○自分の考え・結果を記入す る →記入する内容 ・考え ・結果
L	l		└♥	4	- 2	_		L

4年算数	「三角形のなかまを調べよう	」学習	習指導案	
	◎角の大きさの比べ方		○個人ごとに	<部分マップ>
	を任意の単位を用い		・任意の単位をどうするのか考	○自分が考えた単位で比べ
	て自分なりの方法で		える	た方法を記入する
自	考える		・自分で決めた単位で試してみ	○考え・結果を記入する
	.A. <b>1</b> 2		3	→記入する内容
力	☆考			・考え
解	角の大きさの比べ方を任		○全体で	<ul> <li>結果</li> </ul>
//	意の単位を用いようと考		・自分の決めた単位で測った結	
決	えることができる		果を、全体の場で発表する	<全体マップ>
	◎角度の単位「度(゜)」		・共通の単位の必要性を感じる	○本時でわかったことを記
•	を理解する			入する
解	☆ 考		○普遍単位を知る	
	X 内		・普遍単位である「度(°)」に	
決	角もほかの量と同じよう		ついて知り、分度器の構造と	
D	に、単位量のいくつ分と		自分たちが任意の単位で測っ	
	数値化して考えている		た結果と共通点を見つけなが	
検	☆知		ら、理解を深めていく	
⇒∔				
討	分度器の構造や1直角=			
	90°の関係を理解してい			
	3			
		♦		
4.77	◎角の大きさを測ろう	2	○いろいろな大きさの角を、分	<全体マップ>
解	とする ☆ 掲	h	度器を用いて測る	○3枚の角が描かれた、問題 をはる
決				○③の問題の解決方法の分
	工夫して測ろうと考える		いろいろな大きさの角を測   ろう	岐点を描く
Ø	ことができる		22	<部分マップ>
見				<ul> <li>○自分が選択した方法を記</li> <li>入する</li> </ul>
				→記入する内容
通				・測る方法
1			・分度器を用いて、測る	・答えの予想
L			・図③の測り方の見通しをもつ	
	◎分度器を用いていろ		 〇個人で	
自	いろな大きさの角を		・測る方法を考える	<全体マップ>
力	はかる		・自分の考えた任意の単位を用	○本時のまとめを記入する
解	۰ ( <del></del>		いて③の角を測る	<部分マップ>
決	☆考		○全体で	○考え・結果を記入する
•	いろいろな大きさの角		・測った結果を発表し、どちら	→記入する内容
解	を、工夫しながら測定で		の測り方でも正しい角度を求	・測った結果
決	きる		められることを知る	・わかったこと
	0.9			
の の			・角の加法性、減法性を知る	
	☆囲		・角の加法性、減法性を知る	
Ø			・角の加法性、減法性を知る	

		できる	Ţ		
	解	◎分度器を用いて角を かこうとする	₹ 2 h	角を描こう	<全体マップ> ○一つの観点である「かき
	/杆 決	☆ 関 分度器を用いて角を描こ		○スキー場のゲレンデの角度 は?	方」の道を描く ○分度器を用いた角の描き 方の手順を記入する
	Ø	うとしている ☆ <b>署</b> いろいろな大きさの角を		<ul> <li>・分度器を用いた角の描き方を 知る</li> </ul>	- 万の于順を記入する <全体マップ> ○「210°の角を描く」とい
	見	工夫して描こうと考えこ とができる		210°の角を描こう ・210°の角の形が、どんな形に なるかを予想する	う問題を記入する <部分マップ>
	通			イヤのハーズ 1.55 5 つ	<ul> <li>○自分が選択した方法を記</li> <li>入する</li> <li>→記入する内容</li> </ul>
	L				<ul> <li>・描き方の見通し</li> <li>・答えの予想</li> </ul>
	自力解	<ul> <li>③角の加法性・減法性を 使って、180°より大 きな角を描く</li> </ul>		<ul> <li>○個人で</li> <li>・描く方法、手順を考える</li> <li>・自分で考えた方法を使って描</li> </ul>	<全体マップ> 〇描き方のまとめを記入す る
	決 • 解	☆ <b>関</b> 180°より大きな角を描		く ○全体で	< <p>&lt;部分マップ&gt; ○自分が選択した方法の手 順を記入する</p>
	決 の	こうとしている ☆ <b>憲</b> 分度器を用いて、180°よ		・描いた結果を発表し、どちらの描き方でも正しい角が描け	
	検 討	万度品を用いて、180 より大きな角を描くことができる	↓ ▼	ることを知る	
定	課	◎いろいろな大きさの 角を測ったり、描いた りする活動をとおし て、学習内容の理解を	1 h 	<ul> <li>○練習問題に取り組む。</li> <li>・今まで調べてきたことをもとに、角についての学習内容の理解を深める</li> </ul>	<ul> <li>「部分マップ」に目次を付けながら整理し、「全体マップ」に感想などを記入する</li> </ul>
着	題				・練習問題を解いている途中 で、分からない問題があっ
•	定	作ろうとしている ☆ 去 一 表 の の た 別 の 、 角を測			た場合には、「全体マップ」 「部分マップ」に戻って、 考えるようにさせる
課	着	ったり描いたりすること ができる ☆ 知			
題		角の測り方や描き方を理 解している			
発	問題	◎今までの学習を新た な課題作りに発展さ		<ul> <li>角について調べ、その角が身の回りのどんなところにあるのか。</li> </ul>	
展	の 再	せる ☆ 関 これまでの学習を新たな		のか、探す ・平面図形にも角の部分がある ことに気付く	
茂	構成	学習や生活に生かそうと する		<ul> <li>これまでの学習を振りかえる</li> <li>ことによって、三角形の角に</li> <li>ついて調べたいという気持ち</li> </ul>	
		©三角形や角度などへ の興味・関心を高める ☆ 関		をもつ ・ 三角形について調べていくこ とを知る	
		身の回りにある三角形を	↓	・身の回りにある三角形を活用	

rection $methodsmet$	する 容 拠 ≚習課題を記入 容 をしよう 考えよう >
第二小単元<二等辺三角形と正三角形>開 $\bigcirc$ 三角形について学習 していくことを知る $\land$ 圏 学習課題について主体的 握1 ト 次 学習課題について主体的 運を立てる $\land$ 圏○学習課題設定肥 $\bigcirc$ 学習課題について主体的 学習課題について主体的 握 $\frown$ 三角形のどんなことについて 調べるのか課題を考える 【学習課題】○肥 $\bigcirc$ 御んな学習をしていけば いいのか観点をみつける ことができる· 三角形のどんなことについて 調べるのか課題を考える 【学習課題】· 三角形のどんなことについて ③課題を記入づ ○課題をおころ ・ ジーンのが課題を考える (学習課題)ア一(○酸どんな学習をしていけば 	する 容 拠 ≚習課題を記入 容 をしよう 考えよう >
第二小単元<二等辺三角形と正三角形>第二小単元<二等辺三角形とでいて学習 していくことを知る $^{\bigcirc}$ 圏 世 ビマンスとを知る 中間分けをしよう1 h h○学習課題設定調○学習課題設定 $\stackrel{\bigcirc}{=}$ 千月 开彡 を<	する 容 拠 ≚習課題を記入 容 をしよう 考えよう >
間 一 回 中間 学習課題について主体的 提 に考えようとしている 取 。 の 観 点 空 調整 空 調整 空 電 定1 していくことを知る 介囲 学習課題について主体的 	する 容 拠 ≚習課題を記入 容 をしよう 考えよう >
調山 していくことを知る 点 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 二 一 一 	する 容 拠 ≚習課題を記入 容 をしよう 考えよう >
課超 会 一会 開三 (角 用)三 (角 用)三 (角 用)三 (方 (月 用)三 (月 用)(二 (月 用)(二 (二 (二))(二 (二))(二 (二))(二) <td>する 容 拠 ≚習課題を記入 容 をしよう 考えよう &gt;</td>	する 容 拠 ≚習課題を記入 容 をしよう 考えよう >
把 学習課題について主体的 握 に考えようとしている の観点を決めて学習課 題を立てる ☆ 圏 設 定・ 三角形のどんなことについて 調べるのか課題を考える 【学習課題】 ・ 中間分けをしよう く全体マップ 〇課題を記入す つ ・ の ・ 中間分けをしよう設 定 	する 容 拠 ≚習課題を記入 容 をしよう 考えよう >
$     [1] 型 ·      [1] ③ 観点を決めて学習課     [1] 超 \circ[2] 一[2] 一[2] 一[2] 一[2] 一[2] 一[2] 一[2] 一[2] 一[2] ①[2] 一[2] ①[2] ②[2] ①[2] ①[2] ②[2] ①[2] ②[2] ①[2] ②[2] ②[2] ③[2] ④ $	する 容 拠 ≚習課題を記入 容 をしよう 考えよう >
[題] ·      [0] 観点を決めて学習課     [題を立てる     ☆ []]     [注 んな学習をしていけば     いいのか観点をみつける     ことができる     定 $ $	する 容 拠 ≚習課題を記入 容 をしよう 考えよう >
課題を立てる ☆ 関 超(学習課題)→記入する内約 ・ ・ ・ ・ ・ 中間分けをしよう設どんな学習をしていけば いいのか観点をみつける ことができる・ 仲間分けをしよう→記入する内約 ・ ・ する定定・ かき方を考えよう→記入する内約 ・ ・ 中間分けをしよう解◎様々な形の三角形の 付に着目して仲間分 けをしていったらよ 、 ☆ 圏2 ト● ・ 仲間分けをしよう解○目分なりの観点をもつ ・辺に○自分なりの観点をもつ ・辺に○ ・辺に	容 拠 ≤習課題を記入 容 をしよう 考えよう >
image: approximate problem☆ 園   <b< td=""><td>拠 &lt;<p>&lt; 容 をしよう 考えよう &gt;</p></td></b<>	拠 < <p>&lt; 容 をしよう 考えよう &gt;</p>
The provided HTML Representation of the provided in the provided i	<ul> <li>智課題を記入</li> <li>容</li> <li>をしよう</li> <li>考えよう</li> <li>&gt;</li> </ul>
	容 をしよう 考えよう >
定       ことができる       ・ かきりをもんより       ・ かきりをもんより         設定       一       ・ かきりをもんより       ・ 仲間分けた         確       「何に着目して仲間分」       ・ 仲間分けをしよう       ・ 仲間分けをしよう         解       「何に着目して仲間分」       ・ 仲間分けをしよう       ・ 一つの観点         次       いのか見通しをもつ       ○ 自分なりの観点をもつ       ・ 辺に	をしよう 考えよう >
定       定       ・仲間分けき         定       ・描き方をき         解       ◎様々な形の三角形の 何に着目して仲間分 けをしていったらよ       2 h         水       小のか見通しをもつ ☆ 圏         ☆       ●自分なりの観点をもつ ・辺に	をしよう 考えよう >
定一一一一 $\mu$ $\odot$ 様々な形の三角形の2解何に着目して仲間分けをしていったらよ一決ふのか見通しをもつ☆ 圏〇自分なりの観点をもつ・辺にる。そこかし	考えよう >
解	>
解何に着目して仲間分 けをしていったらよ 、 次 ☆h仲間分けをしよう いのか見通しをもつ ・辺に $\bigcirc$ 一つの観点 け」の道を打 の の仲間分けの る。そこかい	
mけをしていったらよ口前別のをじよりけ」の道を打決いのか見通しをもつ ☆ 圏〇自分なりの観点をもつ ・辺に〇仲間分けの る。そこかい	である「仙間公
Image: http://www.selectronewideImage: http://www.selectronewideImage: http://www.selectronewideImage: http://www.selectronewide決いのか見通しをもつ $\bigcirc 自分なりの観点をもつ○仲間分けの\land \alpha B·辺にる。そこかれ$	
( ☆ 考 ・辺に る。そこかり	
☆ 考   ・辺に る。そこかい	)方法を記入す
の  仲間分けの観点を考える       ・ 角に   した 方法の	ら、自分の選択
	道を描く
ことができる	>
見	した三角形の仲
	点を記入する
課   通	
自 ◎様々な形の三角形の ○個人で <全体マップ	>
「 」 なかから、観点にそっ      ・二角形の準備               〇本時でわか	ゝったことを記
□ <sub>□</sub> 力 て仲間分けをするこ   ・個人ごとにいろいろな三角形 入する	
題  とができる を準備し、仲間分けを試して <部分マップ	>
解 ◎ 「二等辺三角形」 「正     みる   ○考え・結果る	を記入する
三角形」の定義と特徴 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	容
決         を理解する         ●         ●         ●         ●         方法	
	を選択した理由
$  \cdot  $ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
$\Gamma = \Gamma =$	
解    200天さや角の人ささに     で発表する ・二等辺三	角形と正三角形
解     1000 Revention (1990)     で発表する     ・二等辺三かの定義と	
解     第     第     1000 Reversion (Notation)     ・二等辺三ケーの定義する     ・二等辺三ケーの定義と付け、       解     着目して三角形を分類し ようとしている     ・発表の後に     辺に着目し、「二     の定義と付け	
解     1000 R3 (Phillip 10) (Pacific)     で発表する     ・二等辺三かの定義と       解     着目して三角形を分類し     の定義と	
解     200 夜さや角の人きさに     ・二等辺三介       解     着目して三角形を分類し     ・発表する     ・二等辺三介       次     ようとしている     ・発表の後に、辺に着目し「二       決     ☆図     ・デン       「二等辺三角形」と「正三角形」     の定義を知ろ	
解     200x23(+760)/53(c)     で発表する     ・二等辺三ケの定義と付       解     着目して三角形を分類し     ・発表の後に、辺に着目し「二     の定義と付       決     ☆囲     等辺三角形」と「正三角形」	
解       通の長さや角の人きさに       で発表する       ・二等辺三角の定義としたいる         決       ようとしている       ・発表の後に、辺に着目し「二       の定義と相の定義を理解し         の       「二等辺三角形」と「正       の定義を知る         エージン       アンドにないたき日レー「二枚い口二角	
解       通の長さや角の人きさに 解       で発表する       ・二等辺三ケの の定義とする         解       着目して三角形を分類し ようとしている ☆       ・発表の後に、辺に着目し「二 等辺三角形」と「正三角形」       ・ご等辺三ケの の定義とする         の       「二等辺三角形」と「正 三角形」の定義を理解し       の定義を知る	
解       近の長さや角の人きさに       で発表する       ・二等辺三角のの定義と         解       着目して三角形を分類し       ・発表の後に、辺に着目し「二       の定義と         決       ☆囲       ・発表の後に、辺に着目し「二       の定義と知る         の       「二等辺三角形」と「正       の定義を知る       ・次に角に着目し、「二等辺三角形」の特徴を	
解       通の長さや角の人きさに       で発表する       ・二等辺三角のの定義とも         解       着目して三角形を分類し       ・発表の後に、辺に着目し「二       の定義とも         決       ☆短の       「二等辺三角形」と「正       ・発表の後に、辺に着目し「二         の「二等辺三角形」と「正       の定義を知る       ・次に角に着目し、「二等辺三角         決       検       ている       ・次に角に着目し、「二等辺三角         計       レ       ・次に角に着目し、「二等辺三角	性質
解       通しの長さや角の人きさに       で発表する       ・二等辺三ケのの定義と         解       着目して三角形を分類し       ようとしている       ・発表の後に、辺に着目し「二       の定義と         決       ☆囲       ・発表の後に、辺に着目し「二       の定義と知る         の       「二等辺三角形」と「正       の定義を知る       ・次に角に着目し、「二等辺三角         決       検       ている       ・次に角に着目し、「二等辺三角         うとしている       ・次に角に着目し、「二等辺三角形」       ・次に角に着目し、         (つ)       「二等辺三角形」       ・次に角に着目し、         ショる       ・次に角に着目し、       (二等辺三角	性質 >
解       通の長さや角の人きさに       で発表する       ・二等辺三角のの定義とする         解       着目して三角形を分類し       ・発表の後に、辺に着目し「二       の定義とする         決       ☆風       ・発表の後に、辺に着目し「二       の定義と知る         の       「二等辺三角形」と「正       の定義を知る       ・次に角に着目し、「二等辺三角形」の特徴を         決       検       ている       ・次に角に着目し、「二等辺三角形」の特徴を         か       「個に着目して作図す 2       指き方を考えよう	性質
解辺の長さや角の人きさに 解で発表する・二等辺三角 の定義を の定義を の定義を知る次な・うとしている ☆囲 の「二等辺三角形」と「正 三角形」の定義を理解し 大 (本)・発表の後に、辺に着目し「二 等辺三角形」と「正三角形」 の定義を知る・二等辺三ケ の定義を の定義を知る決検ている す・次に角に着目し、「二等辺三角 形」と「正三角形」の特徴を 知る・次に角に着目し、「二等辺三角 の定義を知る決検イロション アン ・次に角に着目し、「二等辺三角 の定義を知る・二等辺三ケ の定義とシ「二等辺三角形」と「正三角形」 の定義を知る・次に角に着目し、「二等辺三角 の定義を知るシ「二等辺三角形」 の定義を知る・次に角に着目し、「二等辺三角 の定義を知るシ「二等辺三角形」と「正三角形」 の方義を知る・次に角に着目し、「二等辺三角 の方法を知るシ「二等辺三角形」と「正三角形」 の方義を知る・次に角に着目し、「二等辺三角 の方義を知るシ「二等辺三角形」と「正三角形」の特徴を 知る・次に角に着目し、「二等辺三角 の特徴を 知る	性質 > である「描く」
解辺の長さや角の人きさに 着目して三角形を分類し ようとしている ☆ 囲 の「二等辺三角形」と「正 三角形」の定義を理解し 討で発表する・二等辺三角 	性質 > である「描く」 記入し、そこか
解通の長さや角の人きさに 着目して三角形を分類し ようとしている ☆ 囲 の「二等辺三角形」と「正 三角形」の定義を理解し うで発表する・二等辺三角 の定義と の定義と知る決、 、 	性質 > である「描く」
解辺の長さや角の人きさに 角目して三角形を分類し ようとしている ☆園 の「二等辺三角形」と「正 三角形」の定義を理解し 討で発表する・二等辺三角 	性質 > である「描く」 記入し、そこか 選択した方法の

	[				○自分が選択した方法の手 順を記入する
	自力解決・解決の検討	<ul> <li>◎「二等辺三角形」と「正 三角形」を作図する</li> <li>☆ 割</li> <li>「二等辺三角形」と「正</li> <li>三角形」の作図法を考えることができる</li> <li>☆ 割</li> <li>「二等辺三角形」と「正</li> <li>三角形」の作図ができる</li> <li>☆ 割</li> <li>「二等辺三角形」と「正</li> <li>三角形」の作図ができる</li> <li>☆ 国</li> <li>作図のしかたを理解している</li> </ul>	•	<ul> <li>○個人で</li> <li>・自分で考えた描き方で試してみる</li> <li>○全体で</li> <li>・自分で考えた描き方を、全体の場で発表する</li> <li>○個人で</li> <li>・自分が試していない方法で描いてみる</li> </ul>	<全体マップ> ○描き方のまとめを記入す る <部分マップ> ○考え・結果を記入する →記入する内容 ・方法 ・手順
定着・課題	題 定 着	☆	1 h	<ul> <li>○練習問題に取り組む</li> <li>○今まで調べてきたことをもとに、「二等辺三角形」と「正三角形」についての学習内容の理解を深める</li> </ul>	<ul> <li>「部分マップ」に目次をつけながら整理し、「全体マップ」に感想などを記入する</li> <li>・練習問題を解いている途中で、分からない問題があった場合には、「全体マップ」「部分マップ」に戻って、考えるようにさせる</li> </ul>
発展	問題の再構成		•	○三角形や角の学習から、これ からの学習や生活に生かすこ とができることはないかを考 える	